

今月第4号は京都部京都ウエストクラブの森田 恵三ワイズにご登壇いただきます。



京都部京都ウエストクラブ  
森田 恵三ワイズ

### 「新生ワイズ起こし運動」で会員増強を！

1997年7月に日本区が分区されて以来20年余、東西両区ともに拡大への期待もむなし、著しい会員減少と高齢化が進行しています。西日本区としては、この現状に歯止めをかけ発足時のワイズ力を取り戻し建て直すため、2016年7月から「ワイズ将来構想特別委員会」が活動を開始しています。

特別委員会では、元理事・元事業主任との意見交換や、全クラブへの実態調査アンケートなど多くの参考資料を収集し、協議を重ねた結果「西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画」を作成しました。その後理事通信や区報にて発表、「西日本区新生ワイズ起こし運動」をタイトルとしたナレーション付きのDVDを制作して各部部长とクラブ会長に配付しておりますので、是非ともご活用願いたく存じます。

今後基本計画を実行する「新生ワイズ起こし運動」は、各部に設置された「部主体の実働チーム」と特別委員会との強い絆をもって全会員とともに会員増強活動を展開し、2022年に迎える国際ワイズ創立100周年・西日本区発足25周年には会員2022人の目標達成を目指すこととしています。

会員皆さまのご理解とご協力を切に願う次第であります。

### 会員増強について 会員の入会

クラブの命というものを改めて考えてみたいと思います。クラブは有限の命しか持たない個人の集合体です。だからつねに新陳代謝を図らねばならず、会員という個体が持つ有限の命を正しい理念とともに、良質多量化してつないでいくことによって、クラブに無限の命を持たせ強めることができます。

質量相俟った会員増強を使命とするEMC 事業は、単年度で終わることもできる他の事業とは全く異なった、極端に言えば悠久にとどまることのない事業なのです。

入会勧誘の言葉にはいろいろありますが、私は「ワイズに入会してくれませんか」の請願スタイルだけは絶対取ってはいけないと思います。誠実な人、この人と思える人には、真心こめて自分の体験とともにクラブの良さ、ワイズの素晴らしさを説明して、必ずあなたの人間的成

長、人格向上に役立つ研鑽の場となることを説くべきと思います。

しかし、この裏付けには重要なことがあります。お分かりと思いますが、それはクラブの有り様です。お誘いするときに自信をもって勧誘できるだけのクラブかどうかです。ワイズの世界や基本が守られて規律あるクラブ活動や運営がなされているかということです。

会員自身の有り様もまた大切です。自分が自信をもって、かつ楽しみながらワイズに関わっているか、ワイズメンの誇りが持てているかなどです。だから、クラブが弱っているならクラブを立て直し、自分自身にひ弱さを感じずなら強める努力をして、クラブやあなた自身の魅力を高めておくことが求められると思います。

オリエンテーションを済ませた新会員の厳粛さと温かさの溢れる入会式をはじめ、気配りのあるフォローがまた大事です。他クラブ訪問やいろいろな行事へのエスコートにも気を付け、ワイズ温泉にどっぷり浸かって「ワイズに入って良かった」という言葉が聞けるまでに育ててあげることが必要でしょう。

これまでに一人も会員を紹介できていない方は、ぜひ勇気をもって一人の新会員を獲得してください。入会した会員がクラブになじみ、次第に成長していることを知るとき、あなた自身は大きな喜びを味わうこととなります。そして、このように育った会員はまず退会とはならないし、また人を誘ってくれるワイズメンになるのです。

## 会員の退会

つぎに会員の退会を考えてみます。

入会者より退会者が上回る状況が続けば、そう遠くない日にワイズが消滅することは必定といえます。退会防止がいかにか大事かは誰にでもわかることです。

退会者のそれまでのクラブ活動へのかかわり方や出席率の悪さ、コミュニケーションの無さなど日頃の態度で、おおよその様子は推察されるのではないのでしょうか。ひょっとすると退会するかなど気配を感じた時には、独りぼっちにさせないようにいち早く手を差し伸べて、その会員がクラブ内での楽しさのある存在感を感じられるようにすることが大切だと思います。

一方、新会員にはぜひ「ワイズ必携」と「ワイズ読本」を読んでもらうようにお勧めいただきたくお願いいたします。この2冊の本には、多くの執筆者によるワイズの世界や知識が凝縮されています。新会員も先輩ワイズメンの皆さんも、クラブを良くするためにぜひご精読いただくことを心からお願いする次第であります。

古来「ローマは一日にしてならず」という譬えがあります。「人生には特効薬はない。一つひとつの積み重ねの上にしか花も実もならない」との言葉もあります。私達たち全会員で推進しようとしている「新生ワイズ起こし運動」は、絶対に継続事業でなければ成功しません。会員増強目標2022名は、会員一人ひとりが本気になって、勇気を出して、熱気を発散して、根気よく励んでこそ達成できることであり、「念ずれば花開く」ことを心に強く打ち込みましょう。

(ワイズ将来構想特別委員会委員長、元日本区第38代理事、  
京都ウエストクラブチャーター会長)

次号11月号は九州部北九州クラブの宮川 詩麻ワイズにバトンタッチいたします。